

幸区地域自立支援協議会の取り組み

つながりのある住みやすい街をつくろう ～課題をキャッチ～



川崎市地域自立支援協議会連絡会議

平成27年10月29日(木)

発表者

地域相談支援センターラルゴ

日野 淳

地域相談支援センターあんさんぶる

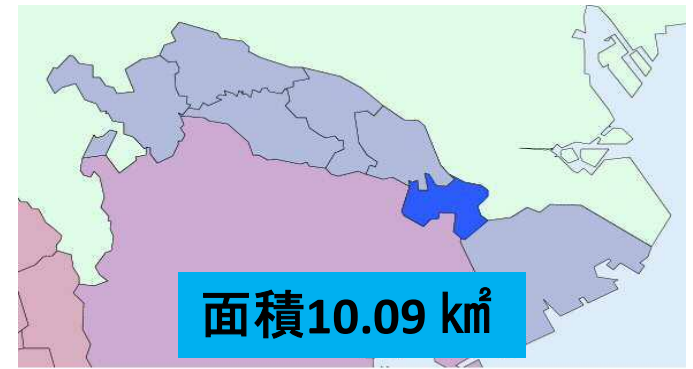
宮本 正教

人口 160,210人

75,060世帯



幸区の特徴



10km

川崎市内で一番人口の少ない区だけど、人口密度は2番目に高い区だよ！

町内会や自治会の加入率は、一番高い区だよ。

3つの河川に囲われていて加瀬山以外は平坦な土地が広がっているよ。



老年人口の割合が高いけど小学生も増えているね。

公営の借家などに住む人の割合が高いよ。

障害者手帳所持者：
身体障害者手帳； 4968人
療育手帳； 1032人
精神保健福祉手帳；1092人
(自立支援医療(精神通院)受給者；1993人)
H26. 10月末の集計



住民の約86%の人が住みやすいと思っているみたいだよ。

参考資料：○幸区役所HP／○市民・子ども局市民生活部市民活動推進課 町内会自治会ハンドブックH22／○「H25幸区区民アンケート調査」幸区役所企画課／○健康福祉局地域福祉部保護指導課 資料／○幸区障害者支援係 集計／○「川崎市の学校」総合企画局都市経営部統計情報課

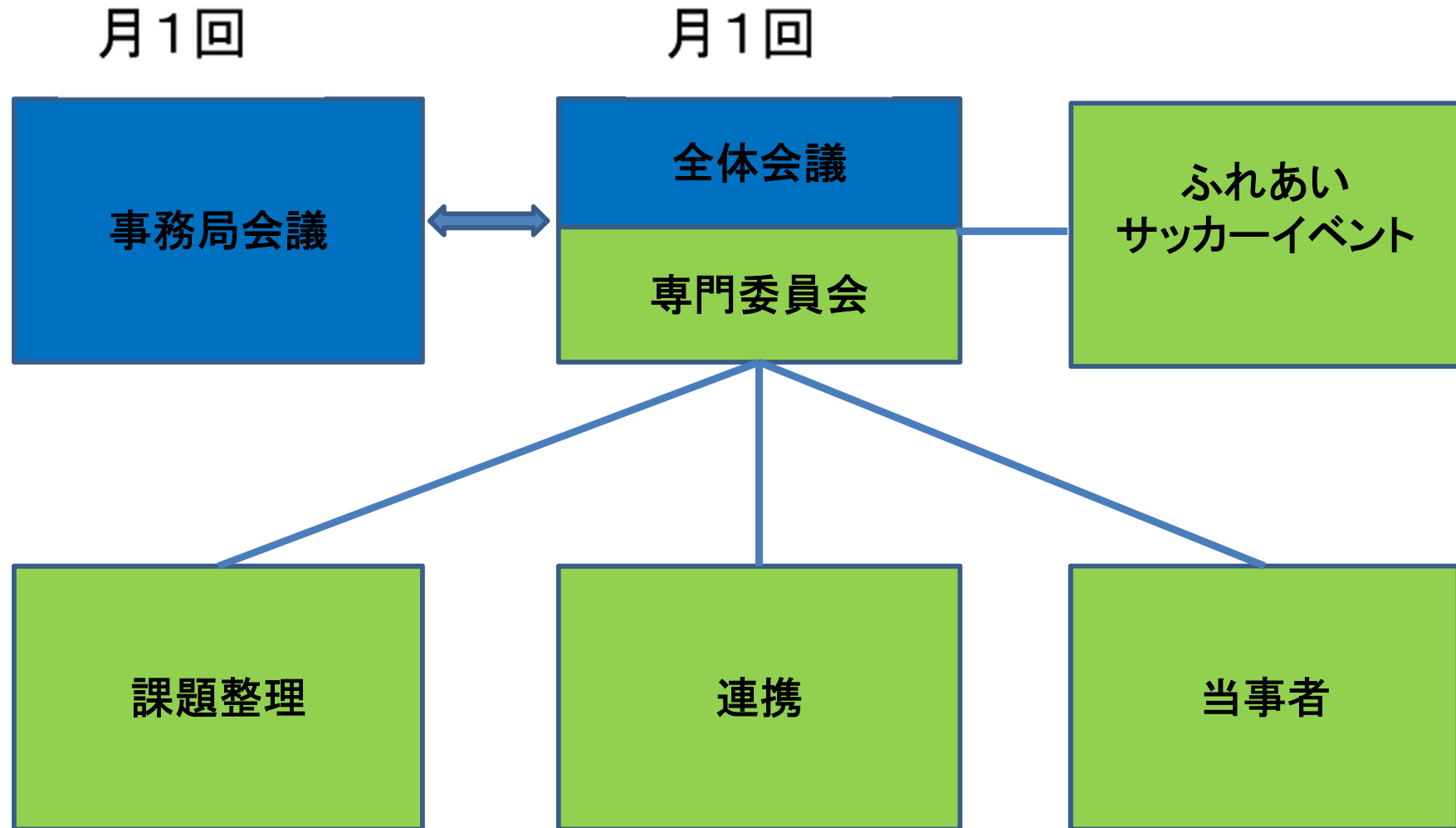
幸区地域自立支援協議会の構成員

- 障害者福祉施設・事業所
- 特別支援学校
- 更生相談所
- 精神保健福祉センター
- 地域療育センター
- 保健福祉センター
- 相談支援センター

【合計20名】



幸区地域自立支援協議会組織図（H27年度）



キーワード① 『家族がつながる』

目標

父親と子供がふれあい、父親同士がつながりを持つ機会を設け、父親の力を支援の場面で発揮していただくきっかけ作りを目指す。



「事務局(担当者)」を中心に企画・運営

活動内容

お父さんと障がいのある子どもたちのふれあいサッカーイベントを実施

幸区地域自立支援協議会 企画

2015
11/29
(日)

お父さんと、障がいのある子供たちの
ふれあい

参加費
無料

サッカーイベント



お父さんと、スポーツを楽しむ経験が少ない障がいのあるお子さん!!
川崎フロンターレのスクール普及コーチと一緒に、
サッカーを楽しみましょう!!



川崎フロンターレが
やってくる!



日時 平成27年11月29日(日)
午後2時から午後3時30分
受付開始 午後1時30分から

場所 東芝小向体育館
川崎市幸区小向東芝町1番地

対象

幸区にお住まいで、
障がいのあるお子さん(小・中・高校生まで)と、
そのお父さん(先着20組)

*参加が決定した方には、当日の案内を郵送致します。
お母さんとの参加も、歓迎します。

持ち物

上履き、飲み物、汗ふきタオル、運動できる服装

申込

裏面の申込用紙にて、FAXでお申込みください。

受付開始:平成27年10月15日(木) 9:00から

締切:平成27年11月20日(金) 17:00まで

※当日は一部、お子さんと離れて、観望さんの交流の時間をとります。

川崎駅西口北より

● 東急バス: 川31、33、34系統「東芝前」下車

● 川崎市バス: 川73、74系統「小向交番前」下車



幸区役所 高齢・障害課 障害者支援係

お問い合わせ ☎ 044-556-6654

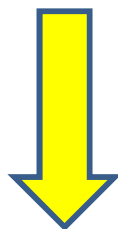
幸区地域自立支援協議会

地域福祉向上について検討・企画運営をするための、福祉関係機関の集まりです。

キーワード② 『地域資源とつながる』

目標

障がいのある方がいきいきと生活を送るためには地域の方とのつながりが必要であり、その第一歩として町内会や民生委員児童委員との連携を模索する。



「事務局(委託相談支援センター)」がパイプ役となり協議会内で情報共有

活動内容

- ・町内会、民生委員児童委員との意見交換
- ・HUG(避難所運営ゲーム)の実施

キーワード③ 『当事者とつながる』

目標

障がいのある方が直接課題解決に参加できる仕組みを構築する。

「当事者委員会」が中心となり活動

活動内容

当事者委員の公募に向けての要項作成や広報、選考方法などについての検討を行う。



キーワード④ 『関係機関とつながる』

目標

関係機関との連携の中から、課題の整理と解決に向けた取り組みを行う。

↓
「連携委員会」「事務局」が中心となり活動

活動内容

- ・教育機関との連携
- ・南部療育センター見学会
- ・地域包括支援センターとの交流会
- ・新規事業所等の事業説明会(3事業所)



キーワード⑤ 『構成員がつながる』

目標

- ・障がい者支援従事者がどのような悩みや課題を抱えながら支援を行っているかをお互いに知り、情報共有や支援のスキルアップにつなげる。
- ・障がい者にかかる課題解決に向けて連携を図りながら取り組む。



「課題整理委員会」が中心となり活動

活動内容

- ・「ひとことタイム」の実施及び課題整理
- ・事例検討会